

山梨の伝統 × 世界で活躍するデザイナー

「和紙」「水晶」「織物」を用いた9つの製品を開発、世界市場に挑む。

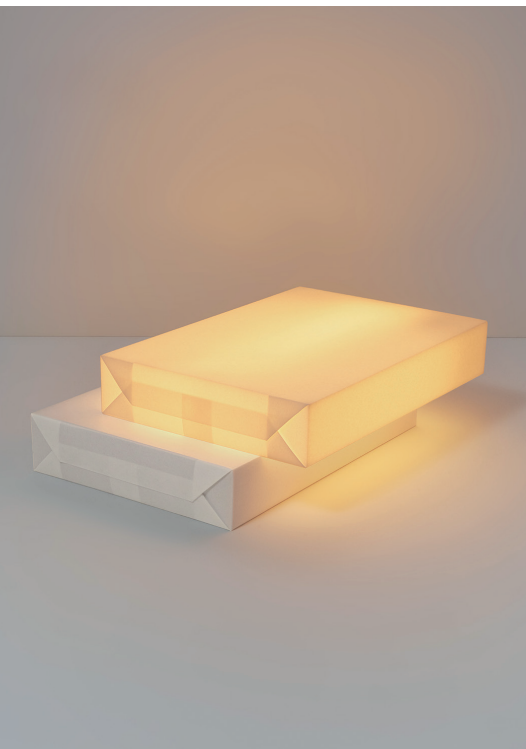


Photo by Satoshi Yamaguchi

2025.3.18[火] - 30[日] 山梨県立美術館

世界を舞台に活躍する3名のデザイナー、深澤直人氏、柴田文江氏、須藤玲子氏とともに、「和紙」「水晶」「織物」に携わる県内事業者と、これまでにない新しい価値を提供する9製品を開発し、このたび展示会を開催します。

山梨県は、訪日外国人、国内外のモダンラグジュアリー層に向けて、山梨の歴史と風土が培った職人技と世界トップクラスのデザイナーによる新たなプロダクト開発を、令和6年度よりスタートしました。

初年度は「和紙」「水晶」「織物」に携わる県内事業者3社と、世界を舞台に活躍する日本人デザイナー3名が9品を新たに開発。山梨県でしか手に入らない高付加価値な製品の国際的な評価を得ることを目的としたPR活動も今後展開していきます。

名称 | 山梨県立美術館附属山梨デザインセンター連携 土産品高付加価値化支援事業
「山梨デザインプロジェクト ～山梨が生み出す 新しいカタチ～」 展示会

日時 | 2025年3月18日(火)～30日(日) 午前9:00～午後5:00
※24日(月)は休館日

会場 | 山梨県立美術館 (山梨県甲府市貢川1-4-27)

JR甲府駅より

- JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使(みたい)・竜王駅経由敷島営業所・大草經由韮崎駅・貢川(くがわ)団地各行きバスで約15分
「山梨県立美術館」下車。

- タクシーで約15分

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、貢川(くがわ)交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。



お問い合わせ先

山梨県観光文化・スポーツ部観光振興課
担当: 国際観光振興担当
TEL: 055 (223) 1620

主催 | 山梨県

PROFILE

プロフィール



プロダクトデザイナー 深澤直人氏

デザイナーの個性を主張するのではなく、生活者の視点にたって人の想いを可視化する静かで力のあるデザインに定評があり、現在までに世界を代表する70社以上のブランドのデザインやコンサルティングを手がけている。世界で最も影響力のあるデザイナーの一人である。「イサム・ノグチ賞」、「The Collab Excellent Design Awards 2024」など受賞歴多数。2022年、デザインと科学の繋がりを探る取り組みを目的に一般財団法人THE DESIGN SCIENCE FOUNDATIONを創設。多摩美術大学副学長。日本民藝館館長。

和紙



県内事業者 (株)大直:古谷愛氏

1960年山梨県市川三郷町で創業し、和紙の可能性と美しさ、日本古来より続く暮らしの美意識を描き続ける製品作りをしてきた大直。社名の由来の一つに『老子』の一節「大直は屈するがごとく」がある。大意は、大直（最もまっすぐなもの）は一見すると曲がって見えるが、清さが深い。こうした精神を尊重し、私たち大直は、和紙と人とのあるべき関係を追い求め、先人たちから引き継いだものを未来に手渡すことに挑戦し続けている。そのひとつがSIWA。和紙の強度に着目し、さらに現代の暮らしにあう強度と美しさを兼ね備えた新しい和紙素材によって新たな可能性を広げる。



プロダクトデザイナー 柴田文江氏

山梨県出身。甲州織物を営む家庭に育つ。エレクトロニクス商品から家具、医療機器、ホテルのトータルディレクションなど、国内外のメーカーとのプロジェクトを進行中。エル・デコインターナショナルデザインワード照明部門グランプリ受賞、Red Dot Award Best of the Best、iF Design Award金賞、毎日デザイン賞、グッドデザイン賞金賞、などの受賞歴がある。多摩美術大学教授。著書『あるカタチの内側にある、もうひとつのカタチ』。

水晶



県内事業者 (株)詫間宝石彫刻:詫間康二氏

詫間宝石彫刻は1967年、詫間悦二により設立。日本一のジュエリー産地である山梨県甲府市を拠点に、水晶や瑪瑙、翡翠などの工芸品を制作している。また、金属と石を一体にして削り出す「同摺り」など新たな技術にも挑戦し、伝統と革新を融合させた独自のものづくりを追求している。近年は多くのジュエリーブランドとコラボレーションし活動の幅を広げてきた。豊かな自然と長い年月を背景とし、原石に内包された風景や美しさを引き出す作品を生み出している。

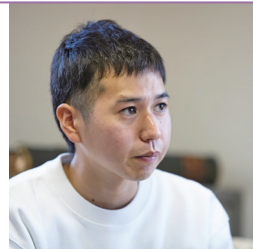
Photo by Masayuki Hayashi



テキスタイルデザイナー 須藤玲子氏

茨城県石岡市生まれ。株式会社 布代表。東京造形大学名誉教授。2008年より良品計画、山形県鶴岡織物工業協同組合、株式会社アズ他のテキスタイルデザインアドバイスを手がける。2016年より株式会社良品計画アドバイザーボード。毎日デザイン賞、円空大賞、芸術選奨文部科学大臣賞等受賞。日本の伝統的な染織技術から現代の先端技術を駆使し、新しいテキスタイルづくりをおこなう。作品はニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ロサンゼルス州立美術館、ビクトリア&アルバート博物館、東京国立近代美術館他に永久保存されている。

織物



県内事業者 TSUGUO:渡邊将太氏

山梨県富士吉田市下吉田にて1891年に織物製造をスタート。3代目となる渡邊継雄が1974年にTSUGUOを設立。1993年現在の社長渡邊将隆が継ぎ、妻と長男(将太)と次男(涼太)で経営している。シルクをはじめ、綿、ウール、キュブラ、ポリエステルなど天然繊維から化学繊維までの幅広い糸で服地をメインに織物製造販売を行う。高密度かつ細番手による繊細な無地やジャカード柄を得意とし、海外のビッグブランドから指名され、工夫を凝らした生産を行っている。



永井一史氏 (本プロジェクト オーガナイザー/山梨県デザインセンター (CDO) センター長)

様々な企業・行政の経営改革支援や、ブランディング、VIデザイン、プロジェクトデザインを手掛ける。

2015年から東京都「東京ブランド」クリエイティブディレクター、2015年から2017年までグッドデザイン賞審査委員長を務める。

多摩美術大学美術学部統合デザイン学科教授、株式会社 HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長 TCL エグゼクティブスーパーバイザー。